

名古屋国際女子マラソン優勝 橋本康子選手(本宮字花町出身、本宮一中卒) 世界陸上 女子マラソン(9月2日大阪) 日本代表決定

世界選手権(8月25日〜9月2日、大阪で開催)女子マラソン代表選考を兼ねた名古屋国際女子マラソン大会は、3月11日に瑞穂陸上競技場発着のマラソンコースで行われ、本宮字花町出身の橋本康子選手(セガサミーホールディングス株)が見事優勝を果たしました。タイムは、2時間28分49秒。橋本選手にとっては、平成15年9月の第30回ベルリンマラソン大会に続く優勝ですが、国内大会では悲願の初優勝となりました。また、大会翌日に行われた陸上世界選手権女子マラソン代表選考会では、優勝した橋本選手が日本代表5人のうちの1人として選出されました。

新市のスタートを飾るビッグニュースに市内も大きな喜びに包まれました。世界陸上は来年の北京オリンピック代表選考会も兼ねており、橋本選手の今後の活躍が大いに期待されます。



レース後、父清介さんから祝福される橋本選手

「苦労の連続だった…」 世界選手権切符の朗報に家族も感無量

「山あり谷あり苦労の連続でした。ようやく苦労が報われ国内での初優勝が果たされました」。本宮字花町の橋本選手の実家では、父清介さんとトミさんが優勝の喜びを話しました。

大会当日は両親をはじめ家族の皆さん、交流のある青田走友会の皆さんらが名古屋にかけつけ声援を送りました。ゴール後、清介さんが橋本選手と握手し、「よく頑張ったね」とねぎらうと橋本選手はうなずいてほほ笑んでいたとのこと。「本人も感無量だったと思う」と話していました。

世界陸上代表決定の朗報は翌12日、森岡芳彦監督から連絡があり、清介さんは「これからもご指導よろしくお願ひします」と感謝し、トミさん



レース中の橋本選手(ナンバーカード13、右から2番目)



優勝を喜ぶ右から橋本選手の父清介さん、母トミさん、兄誠一さん

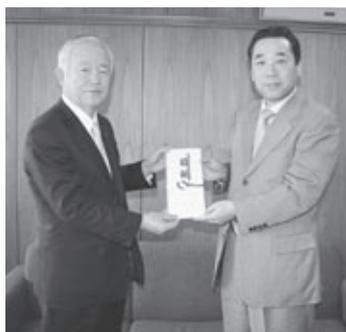
は目に涙を浮かべ感無量の様子でした。

朗報を受け清介さんは「世界の舞台に恥じないよう一層努力してほしい。大きなチャンスでもあるので、ケガに注意して、レベルアップしてほしい」とエールを送っていました。

善意

ありがとう
ございます

◎防犯行政推進のために
▽東北電力(株)郡山営業所
(所長 笹川稔郎さん)
街路灯 20基



◎本宮小学校図書購入のため
▽本宮市消防団
第2分団OB会有志一同
(代表 木下幸市さん)
20、120円

